

平成30年度大分県計画に関する 事後評価

令和5年1月

大分県

3. 事業の実施状況

平成30年度大分県計画に規定した事業について、令和3年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	4 医療従事者等の確保・養成のための事業	
事業名	【No.8 (医療分)】 看護の地域ネットワーク推進事業	【総事業費】 4,439 千円
事業の対象となる区域	東部・中部・南部・豊肥・西部・北部	
事業の実施主体	大分県 (県立看護科学大学)	
事業の期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域の実情に合った地域包括ケアシステムの構築のためには、地域の看看連携、医療機関・施設等のネットワークの強化と合わせて、看護職員の確保・定着、質の向上が必要である。</p> <p>アウトカム指標：看護職員数の増加 H30：21,154人 → R4：21,539人 (R2：21,326人～1%増)</p>	
事業の内容 (当初計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の地域ネットワーク推進会議の開催 (各地区) ・看護の地域ネットワークサミットの開催 (全県) ・看護師対象の研修会の開催 ・中小規模病院看護管理者支援研修 ・県内外の看護学生を対象にした県内病院への就職を促進するイベントの開催。 ・看護学生等に修学するための資金の貸与。 	
アウトプット指標 (当初の目標値)	看護の地域ネットワーク推進会議の開催数 (各地区6回) 看護の地域ネットワークサミットの開催数 (1回)	
アウトプット指標 (達成値)	看護の地域ネットワーク推進会議の開催数 (各地区5.9回) 看護の地域ネットワークサミットの開催数 (1回)	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 看護職員数の増加 H30：21,154人 → R2：21,326人 (1) 事業の有効性 ネットワーク推進会議の開催により、地域の医療機関と介護施設等との連携強化が図れるとともに、自施設の運営体制が強化され、新人看護職員の定着につながった。 (2) 事業の効率性 保健所(部)単位で事業を実施することで、事業の効率化が図れた。	
その他		